

救急医療情報キット

救急医療情報キットとは

自宅で体調が悪くなって119番したとき、また災害時などに、自分に意識がなくても、しゃべることができなくても、前もって、自分の緊急連絡先や医療情報（持病、服用しているお薬、かかりつけのお医者さん）を書いた用紙などを入れた容器を救急隊員に見つけてもらうことで、迅速な処置や搬送に役立ててもらおう、というものです。

救急医療情報キットの保管のしかた

- ①救急医療情報シートに、情報を記入し、折って、円筒の容器の中に入れます。
- ②診察券のコピー、保険証のコピー、自分の写真（裏に名前を書いたもの）
現在飲んでいるお薬がわかるもの（薬局などでもらうシールやお薬手帳のコピー）を、円筒の容器の中に入れて、外側の表紙に、名前と日付を記入し、中にいれたものの口に☑を入れます。
- ③円筒の容器を、冷蔵庫の中の扉の内側など、目に付きやすい場所に保管します。
- ④救急医療情報キットを用意してあることを救急隊員に知らせるステッカーを、冷蔵庫のドアの外側に1枚、玄関のドアの内側に1枚、
（もう一枚あれば、玄関から入った正面の柱など、目に付きやすい場所に）貼ってください。

救急医療情報キット利用上の留意点

- ①救急医療情報シートは、いつも新しい情報になっているように、家族の連絡先やお薬など、変更があれば、すぐに、書き変えるようにしてください。
- ②自宅内に、ステッカーが貼られている場合は、本人及び同居人等の同意を得ないで冷蔵庫を開けて、救急医療情報キットを取り出すことがあります。
- ③救急医療情報キットは、救急隊員が必要と判断した場合に、利用されるので、キットがある場合でも、救急活動の内容によっては利用されないこともあります。また搬送先の医療機関に関しては、本人の状態によって決まるため、救急医療情報キットに記載されている医療機関以外に、搬送される場合もあります。